



第 68 回秋季大会のオンライン開催について

全国大会運営委員会委員長 岩崎 晋也（法政大学）

第 68 回秋季大会は、新型コロナウイルスの流行にともない初の無料オンライン開催となります。大会テーマは「新型コロナウイルスがもたらしている生活問題に立ち向かう」とし、二つのオンライン・シンポジウムと、一つのオンライン・ワークショップ、それと E-ポスター発表により構成され、9 月 12 日（土）から 13 日（日）の二日間開催します。

まず 9 月 12 日午前 10 時からは留学生と国際比較研究のためのワークショップ「社会福祉系大学院留学生の研究と研究指導について考えるー国際比較研究の視点からー」を開催します。

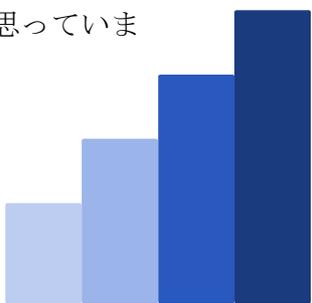
9 月 12 日午後 1 時からはスタートアップ・シンポジウム「研究者としてのキャリア形成について考えるー初期キャリアをどのように形成していくかー」を開催します。

9 月 13 日午後 1 時からは学会企画シンポジウム「いま福祉現場で何がおきているかー新型コロナウイルスがもたらした影響」を開催します。この新型コロナウイルスがもたらす生活問題や生存の危機に立ち向かっている現場の方にシンポジストとしてご登壇いただき、それぞれの方々の取り組みを共有しディスカッションします。シンポジストは、勝部麗子（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会福祉推進室長）さん、稲葉剛（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任准教授）さん、清水康之（特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク代表）さん、小河光治（子どもの貧困対策センター公益財団法人あすのば代表理事）さんの 4 名です。

以上の三つの企画は、Zoom のウェビナーを利用してオンライン配信し、参加者は Google フォームによるフォーマットで質問等をできるようにする予定です。

また 12 日より、学会ホームページ上でポスター発表を行う E-ポスター発表も開催します。この E-ポスター発表でも、個々の発表に対して一定期間内で質問を受け付け、発表の双方向性を確保する予定です。新型コロナウイルスの影響で、様々な研究活動が停滞する中、学会として研究発表の場を確保したいと思い導入することとしました。6 月 22 日から E-ポスターの発表申込を開始しますので、多くの会員からの発表をお待ちしています。

本大会の参加費を無料にし、非会員にも公開するのは、新型コロナウイルスが福祉現場にもたらしている影響を広く市民の方に知っていただきたいからです。ぜひ非会員の方にも学会企画シンポジウムのことを広くお伝えいただければと思います。またこのシンポジウムを通して日本社会福祉学会の活動を認識していただければとも思っています。





なお、シンポジウム等を **Zoom** で参加するには、事前登録が必要です。すでに事前登録の受付を開始していますので学会ホームページをご覧ください。また大会の企画内容の詳細も学会ホームページに掲載しております。当日は、多くの方のご参加をお待ちしています。

